

まどいの扉Ⅱ

佐世保市立中里中学校だより(第16号)

令和3年9月3日 文責 富野 毅

学校 HP



学校教育目標「学び合い 磨き合い 鍛え合う 生徒の育成」

鮮明な写真は
ぜひ HP でご
覧ください。

前期後半がスタートしました。

コロナ第 5 波が猛威を振るっていますが、9 月 1 日から前期後半がスタートしました。始業日にあたって、校長から次の 3 点を生徒に話をしました。

① 9 月 1 日防災の日について

…3 年生は修学旅行で地震の恐ろしさは体感したが、1, 2 年生も夏の大雨で身近に災害は迫っていることを実感した。常に自分の命を守ることを意識した行動をとる備えをしよう。

② 今後の学校生活について

…コロナ禍で先行きが不透明であり、行事なども制限をすることもある。不測の事態で欠席する生徒も多くなると思うが、すべてに優しさを持って対応していきたい。端末を使ってリモートなどでもできるので、温かく迎える心のゆとりを持ってほしい。

③ 学校教育目標の達成に向けて

…「学び合い 磨き合い 鍛え合う生徒」になるために、このような状況だからこそ、高め合ってほしい。学習や行事に向けて、現状に満足することなく、「研磨」し合ってほしい。

感染対策で全校集会は行わず、放送での話でしたが、生徒はしっかり聞いていた、と担任の先生からは報告をいただきました。子どもたちの学びは止めない、という方針で、前向きに学習や行事に取り組ませていきたいと思います。

夏休み中に校長から「自由研究コンテスト」のお誘いをしていました。端末のアプリを使って、自由に研究した成果を提出してもらいました。全校で 45 名が提出しましたが、どれも興味深い内容でした。「ソーラークッカーで料理はできるか」「カブトガニが世界を救う」「チョークの再利用」などテーマも面白く、その資料も画像を使ったり、小説形式で表現したりと、生徒の独創性を感じる内容が多くありました。これから審査をしますが優秀作品は公開したいと思っています。

本日、別紙でお伝えしていますが、体育大会における感染拡大防止のため、保護者の皆様の参観を、「各家庭 1 名」に制限させていただきます。大変心苦しい思いでいっぱいですが、ご理解をいただきますようお願いいたします。

鍛え合う生徒に

朝、校門付近で待っていると、中里中の生徒は全員、ちゃんと目を見てあいさつをしてくれます。今朝は傘を差した状態でしたが、傘をあげて明るい表情を見せてくれました。本当に素晴らしい生徒たちです。だからこそ、さらにその良さを伸ばしていきたいと感じています。

最近気になるのが、「あいさつの質」と「登下校の姿」です。学校では本当によくあいさつをしてくれる生徒ですが、登校時に交差点に立ってらっしゃる交通指導員の皆さんに、学校でできているあいさつができていない印象を持っています。さわやかなあいさつを、地域に広げられる生徒であってほしいと願っています。また、登下校の際に送迎をしてもらう生徒の多さが気になります。私は中里中学校の生徒の登下校の「凜とした」姿が大好きです。遠くからでも、徒歩で背筋を伸ばして通学してくる姿は、他の学校にない、素晴らしい姿だと思います。だからこそ、安易に保護者の皆さんに甘えず、毎日徒歩で登校してほしい。雨が降ったり荷物が重い、ということもあるかもしれませんが、自らを「鍛える」という姿勢は持ち続けてほしいと思っています。